

2019年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	電波の日	石黒 美幸	個人	弁護士	電波監理審議会委員として、電波及び放送の規律に関する重要事項を審議するとともに、同審議会の会長代理として、円滑な運営に積極的に尽力するなど、我が国の電波・放送行政の発展に多大な貢献をした。
中央	電波の日	上 芳夫	個人	電気通信大学 名誉教授	情報通信審議会情報通信技術分科会専門委員及び作業班主査等として、EMC（電磁両立性）に関する技術基準の検討及び国内規格の策定に取り組み、また、電波環境協議会会長として、産学官の連携に多大な貢献をした。
中央	電波の日	三瓶 政一	個人	大阪大学大学院 工学研究科電気電子 情報工学専攻 教授	情報通信審議会地上業務委員会主査、新世代モバイル通信システム委員会主査代理、第5世代移動通信システム（5G）実現に向けた研究開発プロジェクトの運営委員会座長等を務め、移動通信システムの高度化、国際標準化、研究開発の推進及び国際競争力の強化に多大な貢献をした。
中央	電波の日	中須賀 真一	個人	東京大学大学院 工学系研究科 教授	総務省国立研究開発法人審議会の専門委員等を長年にわたり務めるとともに、数々の会合において、宇宙分野における情報通信の活用方策の具体化をリードし、我が国の電波の利活用等の促進に多大な貢献をした。
中央	電波の日	一般社団法人 日本コミュニティ放送協会 北海道地区協議会 (会長：杉澤 洋輝)	団体	会長：杉澤 洋輝	平成30年北海道胆振東部地震に伴い道内ブラックアウトが発生した際、24時間体制で災害情報や生活情報の発信を続け、被災自治体と連携して臨時災害放送局の運営サポートを行うなど、被災住民の不安払拭のために多大な貢献をした。
中央	電波の日	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 一般社団法人 衛星放送協会 一般社団法人 電子情報技術産業協会 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 一般社団法人 日本民間放送連盟 大手家電流通協会 全国電機商業組合連合会 日本放送協会	団体	理事長：福田 俊男 会長：小野 直路 会長：柵山 正樹 理事長：吉崎 正弘 会長：大久保 好男 会長：金谷 隆平 会長：峯田 季志 会長：上田 良一	「新4K8K衛星放送」の普及を推進する業界団体等として、周波数確保のための帯域再編、受信機の発売又は販売促進、受信方法や4K・8Kの魅力の周知広報等の必要な取組に尽力するなど、円滑な放送開始のために多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	川角 靖彦	個人		国際電気通信連合電気通信開発部門研究委員会副議長等を歴任し、ルーラル地域に対する電気通信の提供に関する研究を30年以上にわたり主導することにより、途上国のデジタルディバイド解消に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	チャイチャナ・ミッパン	個人	タイ王国 電子取引開発機構 副長官	日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター設立に際し、ASEAN各国との調整に積極的に取り組むなど、我が国と連携し主導的役割を果たすとともに、日ASEAN間におけるサイバーセキュリティ分野の協力関係強化に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	林 紘一郎	個人	情報セキュリティ大学院大学 名誉教授	総務省「サイバーセキュリティタスクフォース」の構成員として、「IoTセキュリティ総合対策」のとりまとめに尽力し、また、政府の「サイバーセキュリティ戦略本部」に本部員として参加し、「サイバーセキュリティ戦略」の策定にも多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	山下 徹	個人	株式会社 NTTデータ シニアアドバイザー	総務省「今後のLアラートの在り方検討会」において座長として議論の取りまとめに尽力するなど、Lアラートの全国的な普及・発展に大きく寄与し、安心・安全に関わる公的情報等の迅速かつ正確な住民への伝達に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	一般社団法人 日本民間放送連盟 ラジオ委員会 株式会社 NTTドコモ	団体	委員長：岩崎 正幸 代表取締役社長 吉澤 和弘	新たな放送・通信連携サービスとして、また災害時の情報伝達手段として、大きな役割を果たすことが期待される「ハイブリッドラジオ」機能搭載のスマートフォン（「ラジスマ」）の開発及び実用化に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
		KDDI 株式会社 富士通コネクテッドテクノロジー株式会社 京セラ 株式会社 株式会社 radio		代表取締役社長 ：高橋 誠 代表取締役社長 ：高田 克美 代表取締役社長 ：谷本 秀夫 代表取締役社長 ：青木 貴博	
中央	情報通信月間	グローバルコミュニケーション開発推進協議会 実用化促進部会 事業化共同推進ワーキンググループ	団体	主査/株式会社 富士通研究所 人工知能研究所 デジタルナレッジPJ 特任研究員：長瀬 友樹	国立研究開発法人情報通信研究機構が開発された 多言語音声翻訳エンジンの商用ライセンス事業に 関する募集要件の整理を行うことにより、多言語音声翻訳プラットフォーム等を通じた多言語音声翻訳エンジン活用サービスのビジネス化に多大な 貢献をした。
中央	情報通信月間	駒ヶ根市	団体	市長 ：杉本 幸治	平成 28 年度ふるさとテレワーク推進事業等を活用してテレワーク施設を整備し、進出企業との連携 による ICT を活用した雇用創出と、総務省の テレワークイベントへの協力を通じて、テレワークの普及促進に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	フレキシブルファクトリパートナーアライアンス	団体	会長 ：アンドレアス・デングル	製造現場で混在する多様な無線システムの安定化を 図るための新たな無線通信規格の策定及び国際標準化の取組を推進し、また、国立研究開発法人情報通信研究機構・ドイツ人工知能研究センター間の協力を深化させる等、工場のワイヤレス化の推進及びそのための国際連携の確立に多大な貢献 をした。
中央	情報通信月間	前橋市	団体	市長 ：山本 龍	高齢者等の交通対策や救急医療等、様々な分野で のマイナンバーカードの先進的な利活用のほか、 個人の医療・介護・健康データに係るサービスモデル開発等にも積極的に取り組み、地方での ICT 優良モデルの実現に多大な貢献をした。
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	KBS 旭工放送局		作品名 しゃべり捲れ ～時代を超える詩人～	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	東北芸術工科大学 映像学科 高橋 研人、佐々木 茜、後藤 千晶		作品名 いとまきプロジェクト	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	田中 康二郎		作品名 鏡の奥の精霊 -The Spirit in Mirror-	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	黒木 滉希		作品名 行こうよ、新潟	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	大阪市立九条南小学校 九条南☆23		作品名 知ってる？フィルタリング！	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	広島市立基町高等学校 普通科 創造表現コース		作品名 少女の祈り	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	土佐町役場 土佐町中学校3年生		作品名 八つの恋の歌 又	
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	又吉 隆斗		作品名 カノン	
中央	志田林三郎賞	富澤 将人	個人	日本電信電話 株式会社 NTT未来ねっと 研究所 フォトニックトランスポート ネットワーク研究部 部長	光ファイバ通信の通信容量拡大に向けた研究開発に長年にわたり尽力し、総務省の研究開発プロジェクトでは、従前の100倍以上の通信速度を実現するLSI開発のリーダーとして、実用化の進展に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	櫻庭 秀次	個人	迷惑メール対策推進協議会 座長代理 株式会社 インターネットイニシアティブ 担当部長	迷惑メール対策推進協議会の座長代理及び同協議会技術WGの主査等として、迷惑メール対策を推進する活動に10年以上にわたり尽力するなど、多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	情報通信功績賞	森井 昌克	個人	神戸大学大学院工学研究科 教授	地域のセキュリティ人材育成のため、産学官連携の取組に尽力するとともに、総務省「サイバーセキュリティタスクフォース公衆無線LANセキュリティ分科会」の構成員をはじめとし、公衆無線LANのセキュリティ対策の推進に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	一般社団法人 シェアリングエコノミー協会	団体	代表理事 ：重松 大輔	「公助から共助へ」をスローガンに、21世紀の「地方創生」を目指し、地方自治体におけるシェアリングエコノミーサービスを活用した地域課題解決の推進に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	株式会社 ジンズ	団体	代表取締役CEO ：田中 仁	集中力を測定するメガネ型IoTデバイスや生産性を高めるワークスペースの開発により働き方改革に科学的視点を導入するとともに、テレワーク・デイズへの参加や「先駆的ICTに関する懇談会」における未来社会への提言などを通じ、情報通信行政の発展に多大な貢献をした。
北海道	電波の日	北海道農政部	団体		トラクターの自動走行を可能とするRTK-GNSSの道内利用状況の把握に努め、「北海道RTK農業マップ」の作成に寄与するなど、スマート農業における電波の有効利用と普及促進に多大な貢献をされました。
北海道	電波の日	稚内市 幌延町 置戸町 佐呂間町 興部町 弟子屈町	団体	市長 ：工藤 広 町長 ：野々村 仁 町長 ：井上 久男 町長 ：川根 章夫 町長 ：裕 一寿 町長 ：徳永 哲雄	平成30年北海道胆振東部地震の際に、テレビ放送波の停波を回避するため、自らの発電機をテレビ中継局に持ち込んで放送の継続を支え、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	情報通信月間	菅原 章嗣	個人	喜茂別町長	IP告知システム更改に当たり自治体連携による共同調達を提唱し「情報通信基盤利用促進協議会」を立ち上げるとともに、地域の課題解決に向け活用方策についても検討するなど、地域住民の安心・安全の確保と利便向上に多大な貢献をされました。
北海道	情報通信月間	東日本電信電話株式会社 北海道事業部	団体		平成30年北海道胆振東部地震の際に、被災地域における通信回線の復旧に努めるとともに、非常用電源の枯渇による通信サービスへの影響予測を事前に公表するなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	情報通信月間	One Hokkaido Project 日本放送協会札幌放送局 北海道放送株式会社 札幌テレビ放送株式会社 北海道テレビ放送株式会社 北海道文化放送株式会社 株式会社テレビ北海道	団体	局長 ：若泉 久朗 代表取締役社長 ：勝田 直樹 代表取締役社長 ：根岸 豊明 代表取締役社長 ：寺内 達郎 代表取締役社長 ：加藤 雅規 代表取締役社長 ：松井 正憲	北海道命名150年を機に共同のテレビ番組制作等の事業に取り組むとともに、未来への繁栄と震災に屈しない希望の精神を道民に発信し、北海道の復興と発展を地元のテレビ放送局が一体となって応援するなど多大な貢献をされました。
北海道	北海道テレコム懇談会会長表彰	さくらインターネット株式会社	団体	代表取締役社長 ：田中 邦裕	多年にわたり学生向けICTビジネスプランコンテスト「北海道起業家甲子園」のメンターとして、起業家を目指す学生を支援し、北海道のICT活用に向けた人材育成に多大な貢献をされました。
北海道	北海道テレコム懇談会会長表彰	有限会社マーヴェリック・クリエイティブ・ワークス	団体	代表取締役プロデューサー ：久保 俊哉	多年にわたり、自治体職員等を対象とする「地域映像制作ワークショップ」の講師として人材育成に尽力し、映像制作の基礎からICTを活用して地域の魅力を発信するコンテンツ制作まで、北海道内の情報発信力の向上に多大な貢献をされました。

	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	北海道総合通信局長表彰	市立札幌旭丘高等学校	団体	学校長 ：林 恵子	「2019 年度情報通信の安心安全な利用のための標語」 「ネットの海 二度と消えない 大こうかい」
東北	電波の日	安達 文幸	個人	東北大学 特任教授	永きにわたり移動無線通信分野において超高速移動無線通信技術の研究に従事し、我が国における第5世代移動通信システムの実現に向けた研究開発や技術的条件の策定に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	田中 秀治	個人	東北大学大学院 工学研究科 教授	戦略的情報通信研究開発推進事業を通じて超高周波帯における弾性波デバイス技術を見いだすとともに、これを活用したフィルタの開発・実用化に尽力するなど、電波の有効利用促進に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	石巻市立病院	団体	病院長 ：椎葉 健一	陸上自衛隊東北方面隊が主催した大規模実動防災訓練「みちのく A L E R T 2018」において、医療通信の確保訓練に積極的に協力し衛星携帯電話を用いた通信確保に取り組むなど、地域の防災体制強化に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	一般社団法人 オナガワエフエム	団体	代表理事 ：松木 達徳	平成 30 年北海道胆振東部地震の被災地に出向き、むかわ町及び厚真町の臨時災害放送局の開局と運営を支援し、被災地の生活の復旧・復興に大きく貢献をされました。
東北	電波の日	先進ロジスティクス交通システム研究プロジェクト	団体	プロジェクトリーダー ：松木英敏 (東北大学未来科学技術共同研究センター教授)	ドローンや自動走行などの近未来技術をさまざまな地域特性に対応した実証事業を提案し、その実用化に取り組むなど、東北地域において電波利用による Society5.0 の実現に向けて多大な貢献をされました
東北	電波の日	東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本総合研修センター	団体	センター所長 ：百瀬 孝	永年にわたり無線従事者養成課程を実施し、その円滑な運営に尽力されるとともに毎年千人規模の修了者を輩出するなど、電波利用の秩序維持と発展に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	南相馬市	団体	市長 ：門馬 和夫	平成 23 年3月の原子力災害から避難した住民に対し必要な情報を提供することにより、避難住民の絆を維持する手段として南相馬チャンネルを整備し、これを順次視聴区域の拡張を行うなど、地域の復興に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	根元 義章	個人	東北大学 名誉教授	多年にわたり情報通信技術の利活用による地域の活性化に資する産学官連携の取組を主導するとともに、東北情報通信懇談会の運営委員長としてその運営に尽力するなど、東北地域における情報通信の普及発展と産学官連携の推進に多大な貢献をされました
東北	情報通信月間	岩手県	団体	知事 ：達増 拓也	いち早く情報通信基盤整備のための体制を整え、地域情報化に取り組む県民に対して最新の ICT 技術に触れる機会や知識の提供を継続的に行うとともに「地域課題解決マッチング会」に全面的な協力をするなど、地域 ICT/IoT 実装の推進に多大な貢献をされました
東北	情報通信月間	ふくしま未来農業協同組合	団体	代表理事組合長 ：菅野 孝志	環境中の微量なエネルギーを電力に変換する「エネルギーハーベスティング」という技術を用いた電源工事不要の圃場センシングによって、生産管理を行うシステムを業界で初めて導入し、農業生産性の向上を図るなど、ICT 技術の活用による地域の活性化に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	南会津町	団体	町長 ：大宅 宗吉	広大な面積を持つ町内に点在する水道施設の多様な監視・管理をクラウドシステムの導入によって効率化することにより、ICT 技術を活用した住民サービスの向上に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	湯沢市	団体	市長 ：鈴木 俊夫	リアルタイム屋外監視システムの構築により農業生産性の向上と新規就農者の拡大を図るとともに、遊休スペースにシェアリングエコノミーサービスを導入するなど、地域 IoT 実装 に取り組み地域情報化の推進に多大な貢献をされました。
東北	「情報通信の安心安全な利用のための標語」東北総合通信局長表彰	会津若松市立 大戸中学校	学校部門	校長 ：長澤 潤	生徒会(生徒厚生(保健)委員会)活動の一環として、情報モラルの向上を図るため「メディアと健康」をテーマとした標語募集を行い、生徒厚生委員及び職員で審査し表彰するとともに、『健康標語カレンダー』を作成し優秀作品を掲載するなど、情報通信の安心・安全な利用に関わる顕著な活動をされ、標語作りにおいて優秀な作品を創作されました。 標語 「メディア時間 減らして増える家族の時間」
東北	東北電気通信協力会長表彰	千田 義夫	個人		永年にわたり地上放送デジタル化に伴う新たな難視地域での受信対策支援業務に従事するとともに、東日本大震災での被災者高台移転先でのテレビ共聴設備等整備の技術支援業務に尽力し、被災地域の復興支援に多大な貢献をされました。
東北	東北電気通信協力会長表彰	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 東北地方本部	団体	本部長 ：尾形和俊	日本アマチュア無線連盟所属のアマチュアガイダンス無線局と総務省所属の規正用無線局との連携運用を東北地域で初めて実施し、捕捉した違反運用の全てが是正されるなど、良好な電波利用環境の整備に多大な貢献をされました。
関東	電波の日	片倉 由一	個人	神奈川県電波適正利用推進員協議会 会長	長年にわたり神奈川県電波適正利用推進員協議会の会長を務め、関係団体と折衝し、電波の正しい利用方法とルールについて各自治体等と連携したイベントを企画するなど、良好な電波利用環境の維持及び協議会活動の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日	福地 一	個人	公立大学法人首都大学東京 名誉教授	長年にわたり電波障害の分析と調査手法について検討を行い、解決困難な事案の早期解決と未然防止に尽力するとともに、電波環境協議会会長を務めるなど、電波利用環境の維持に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関東	電波の日	藤野 義之	個人	東洋大学理工学部 電気電子情報工学科 教授	ワイヤレス電力伝送システムの利用に関する周波数共用条件の調査検討会において座長を務め、導入に向けた課題を整理するとともに、既存の無線システムとの共用を可能とするための技術的検討を行うなど、電波有効利用の推進に多大な貢献をした。
関東	電波の日	公益社団法人移動 通信基盤整備協会	団体	会長 ：大瀧 栄司	鉄道トンネル内の電波遮へい対策に努め、管内の新幹線の全トンネル内で携帯電話の利用を可能とし、利用者の利便性の向上や非常時における通信手段の確保に寄与するなど、電波利用環境の整備に多大な貢献をした。
関東	電波の日	学校法人片柳学園 日本工学院専門学校	団体	校長 ：前野 一夫	長年にわたり情報通信分野の専門教育に積極的に取り組み、無線従事者を養成するなど、無線通信業界の技術者として活躍する人材の育成・輩出に多大な貢献をした。
関東	電波の日	東日本旅客鉄道 株式会社	団体	代表取締役社長 ：深澤 祐二	鉄道トンネル内の電波遮へい対策に努め、管内の新幹線の全トンネル内で携帯電話の利用を可能とし、利用者の利便性の向上や非常時における通信手段の確保に寄与するなど、電波利用環境の整備に多大な貢献をした。
関東	電波の日	山梨県日下部警察 署	団体	警視 ：野矢 聡	不法無線局の及ぼす社会的影響を重視し、不法な外国製狩猟用発信器を使用した無線局を開設して運用した者を摘発するため、当局の要請に積極的に対応するとともに、電波法令違反者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	佐藤 正二	個人	鎌倉女学院中学校・ 高等学校	教育的知見をもとに、学校教育を通じてインターネットへの依存やプライバシーの保護並びに情報セキュリティの確保などに関して積極的に教育・指導を行い、青少年の情報リテラシーの向上に尽力するなど、インターネットの利用環境の整備に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	高木 麻也子	個人	一般財団法人 マルチ メディア振興センター	e-ネットキャラバンの講師として、インターネットへの依存やプライバシーの保護並びに情報セキュリティの確保などに関して積極的に指導・啓発を行い、青少年の情報リテラシーの向上に尽力するなど、インターネットの利用環境の整備に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	高橋 邦夫	個人	合同会社KUコンサル ティング 代表	地域情報化アドバイザーとして、地域に寄り添った支援を継続するとともに、ICTを活用した働き方改革の先進事例の紹介を通じて、地方公共団体及び教育委員会における情報化の推進や職員の意識啓発に努めるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	水野 堅市	個人	株式会社 ステップ ホールディングス 代表取締役社長	ICT関連企業の先駆者として第一線で活躍するとともに、地域のICT関連企業を代表して、YRP情報産業協同組合やヨコスカバレー構想実現委員会の設立運営に携わり、ICTによるイノベーションの推進に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	京浜急行電鉄株 式会社	団体	代表取締役社長 ：原田 一之	言葉の壁を越えたおもてなしの強化に向け、多言語音声翻訳システムを活用し、鉄道分野では日本初となる商用サービスを導入するなど、ICT利活用による地域の課題解決や地域情報化に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	公益社団法人埼玉 県情報 サービス 産業協会	団体	会長 ：石井 進	地域情報化推進事業の一環として、彩の国さいたまICTコンテストを開催するなど、高度情報化の促進並びに情報化に関する知識の普及啓発を通じて、地域の経済及び社会の発展に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	一般社団法人日本 ケーブルテレビ連 盟北関東支部	団体	支部長 ：高田 光浩	新4K8K衛星放送の開始に際し、ケーブルテレビに期待される役割を当局と共有するとともに、衛星放送チャンネルの再編及び新4K8K衛星放送の再放送サービス実施に向けた設備の整備に尽力するなど、同放送の開始及び普及に多大な貢献をした。
関東	情報通信 月間	一般社団法人日本 ケーブルテレビ連 盟南関東支部	団体	支部長代行／副支部長 ：國分 孝夫	新4K8K衛星放送の開始に際し、ケーブルテレビに期待される役割を当局と共有するとともに、衛星放送チャンネルの再編及び新4K8K衛星放送の再放送サービス実施に向けた設備の整備に尽力するなど、同放送の開始及び普及に多大な貢献をした。
関東	関東情報通 信協力会長 表彰	石川 守雄	個人	扶桑電通株式会社 サポートサービス本部 本部長付	多年にわたり、工事担任者の努力義務である技術・知識の向上を図るため、工事担任者スキルアップガイドライン委員会のガイドラインの策定に携わり、工事担任者の育成に尽力するなど、情報通信分野の人材育成に多大な貢献をした。
関東	関東情報通 信協力会長 表彰	木村 隆文	個人	公益財団法人日本無線 協会 養成課程講師	多年にわたる工業高校の教員としての実績及び能力を生かし、公益財団法人日本無線協会無線従事者養成課程の講師として、無線従事者の指導育成に尽力し、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関東	関東情報通 信協力会長 表彰	柴田 孝一	個人	セイコーソリューションズ 株式会社 クロノ トラスト担当部長	多年にわたり、電子情報の信頼性・安全性を高める時刻配信・時刻認証などのタイムビジネスの認知向上や規格・ガイドラインなどの策定に尽力するとともに、トラストサービス利用促進のために積極的な活動を継続し情報通信技術の発展に多大な貢献をした。
関東	関東情報通 信協力会長 表彰	横溝 章	個人	一般財団法人 日本ア マチュア無線振興協会 非常勤管理責任者	一般財団法人日本アマチュア無線振興協会の第三級及び第四級アマチュア無線技士養成課程講習会の管理責任者として、多年にわたり養成課程の適正な運営に熱心に取り組み、アマチュア無線従事者の健全な 育成に尽力するなど、電波利用の発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信越	電波の日	長野朝日放送株式会社	団体	代表取締役社長 ：土屋 英樹	全国高校野球選手権長野大会の全試合オンデマンド配信や放送コンテンツの海外展開など、地域の情報通信の発展に多大な貢献をされました。
信越	電波の日	エルシーブイ株式会社	団体	代表取締役社長 ：吉澤 君弘	永年にわたり「親子ラジオ工作教室&番組出演」を開催し、電波やラジオの役割を身近に感じもって、防災意識を高める機会を提供するなど、電波利用の普及発展に寄与されました。
信越	電波の日	木曾町	団体	町長 ：原 久仁男	御嶽山の携帯電話不感地帯解消対策の検討、携帯電話の基地局整備の在り方に関する研究会への参加等、携帯電話エリア整備の推進に大きく貢献されました。
信越	情報通信月間	工藤 陽介	個人	トーンモバイル株式会社マーケティング本部本部長	永年にわたり大学での情報モラル教育の講義、サイバーセキュリティセミナーでの講演などを通じて、信越地域の情報化の推進に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間	太刀川 信一	個人	独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校 嘱託教授	信越情報通信懇談会地域情報化委員長、戦略的情報通信研究開発推進事業の評価委員などを歴任され、地域の情報化推進とICT分野の研究開発を通じ、地域課題の解決に多大な貢献をされました。
信越	信越電波協会会長表彰	田宮 秀英	個人	前 株式会社社長 長野放送取締役 技術担当	永年にわたり放送施設の構築維持や災害時の放送確保、地上デジタル放送への移行に尽力されるなど、放送分野における電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	松本市総務部	団体	総務部長 ：嵯峨 宏一	市政における公文書集配業務の事例を総務省の広報資料で紹介されるなど、信書便制度の周知及び普及促進に協力されました。
信越	信越総合通信局長賞	上越市立飯小学校	団体	校長 ：栗岡 秀明	「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門） 「令和元年度情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において優秀な作品を創作されました。受賞作品「のせた人あやまったってもうおそい」は、今年度1年間の啓発活動に活用されます。
北陸	電波の日	田中 憲治	個人		一般社団法人全国陸上無線協会北陸支部長として、平成11年から20年間の多年にわたり協会の運営に尽力され、陸上における無線通信の普及促進と業界の健全な発展に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日	中村 伸幸	個人		一般社団法人全国船舶無線協会北陸支部長として、平成25年から6年間にわたり登録点検等事業者の育成と指導を行うとともに、船舶用無線設備の普及促進に尽力されるなど、北陸地域での無線通信の発展に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構大阪支社	団体		北陸新幹線の工事現場において、不法・違反無線局の排除のため、現場に出入りする工事車両に対する立入調査及び適正な電波利用の周知啓発の実施に積極的に取り組み、不法無線局の撲滅に多大の貢献をされた功績
北陸	電波の日	福井県立坂井高等学校	団体		無線従事者の育成に積極的に取り組み、平成27年度及び平成30年度の電気・情報システム科電気コースの一年生全員が第二級陸上特殊無線技士及び第二級海上特殊無線技士の国家試験に合格し、地域の電波利用の人材育成に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間	浅野 秀重	個人		いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会の座長として、広く青少年の安心・安全なインターネット利用環境についての啓発活動及び教育と健全な育成に組み込まれ、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間	菅沼 直樹	個人		市街地で走行可能なセンサーを駆使した自動運転自動車の実用化に向け、石川県内において公道走行実験に取り組むとともに、超高齢社会における自動運転自動車の活用施策について研究を推進するなど、ICTを活用した自動運転技術の発展に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間	株式会社ドコモCS北陸	団体		平成30年7月に実施された「テレワークデイズ2018」において、北陸三県で唯一「特別協力団体」として多くの社員で参加し、「テレワーク」の普及に尽力し地域の働き方改革推進に積極的に貢献された功績
北陸	感謝状	石川県漁業協同組合加賀支所	団体		船舶自動識別装置・国際VHFの展示・説明会を積極的に開催し、所属組合員等の多数の参加を得て、海難防止に係る有効性の理解と認識を深めるなど、船舶自動識別装置・国際VHFの普及促進に尽力された功績
北陸	感謝状	石川県警察本部生活安全部	団体		東京2020オリンピック・パラリンピックを間近に控え、中小企業におけるサイバーセキュリティ対策の重要性が認識される中、石川県内においてサイバーセキュリティの周知啓発 さらに人材育成に尽力されるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北陸	感謝状	石川県電器商業組合	団体		平成30年1月に石川県内で発生した放送停止事故において、視聴困難となった世帯の受信改善を行い、早期の完全復旧に寄与するとともに、新4K8K衛星放送開始に当たりその魅力と受信方法を広く周知啓発し、4K8Kの普及に多大な貢献をされた功績

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	感謝状	公益財団法人ふくい産業支援センター	団体		多様な分野・業種において膨大な数の IoT 機器の利活用が見込まれる中、様々なユーザによる電波利用が増大する状況を踏まえ、率先して IoT 導入支援するための人材育成に取り組まれるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	能美市	団体		災害時の被災住民への災害情報・避難情報等の伝達手段としての臨時災害放送局の重要性を認識され、平成 30 年 8 月に開催された「防災フェスタ 2018」において、開設訓練に積極的に取り組み、臨時災害放送局制度の普及に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	青木 鉞男	個人		多年にわたり電波適正利用推進員として、電波の利用に関する相談や周知啓発など地域の活動に積極的に取り組み、北陸の電波の適正利用の推進に多大の貢献をされた功績
北 陸	感謝状	大島 昭夫	個人		多年にわたり電波適正利用推進員として、電波の利用に関する相談や周知啓発など地域の活動に積極的に取り組み、北陸の電波の適正利用の推進に多大の貢献をされた功績
北 陸	感謝状	岡野 重和	個人		多年にわたり電波の適正な利用に係る活動に理解と経験を有し、電波適正利用推進員選考会委員として、北陸の電波の適正利用の推進に多大の貢献をされた功績
北 陸	感謝状	泉田 正彦	個人		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、e-ネットキャラバンの講師として、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るための活動に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	干場 進二	個人		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、e-ネットキャラバンの講師として、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るための活動に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	細川 一人	個人		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、e-ネットキャラバンの講師として、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るための活動に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	本多 明彦	個人		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、e-ネットキャラバンの講師として、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るための活動に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	山崎 勇貴	個人		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、e-ネットキャラバンの講師として、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るための活動に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	NEC ソリューション イノベータ株式会社	団体		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るため、e-ネットキャラバンの講師派遣に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	小山商事株式会社	団体		青少年の安心・安全なインターネット利用環境の重要性を深く認識され、インターネット上の違法・有害情報によるトラブルから次世代を担う青少年を守るため、e-ネットキャラバンの講師派遣に積極的に取り組みられるなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	清水 康弘	個人		多年にわたり一般社団法人北陸自動車無線協会理事として、タクシー無線の高度化・デジタル化の推進や無線運行管理者の資質向上に努められるなど、北陸地域のタクシー無線の健全な普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	長瀬 啓介	個人		平成 20 年度から一貫して医療における情報技術利用の高度化と情報セキュリティの確保を推進し、その成果は国が定める医療機関における携帯電話等の利用指針の基礎となり、医療機器の情報セキュリティ改善活動に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	室谷 芳隆	個人		NPO 法人ネットワークアシストたかおかの中心的役割として、発足時の平成 13 年 8 月より副会長として携わり、情報通信技術の構築支援とセキュリティ啓発等に積極的に活動され、高岡市の市民活動情報ポータルサイトの企画・設置・運用と市民利用による地域活性化に尽力された功績
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	小浜市「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト	団体		平成 29 年度「地域 IoT 実装推進事業」に採択された「「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト」において、KDDI 株式会社他と連携し、経験と勘に頼る鯖養殖において IoT センサー等を活用した飼育方法の高度化データ化に取り組み地域活性化に多大な貢献をされた功績

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	学校法人金沢工業大学「Bus Stop」プロジェクト	団体		ICT と IoT で地域の課題解決を図る「地域を網羅する賢いバス停による見守りサービス事業の創出と展開」事業において、産学官が連携する中核的な役割を果たされるとともに、野々市市のコミュニティバスの現在位置が分かるアプリ「バスどこシステム」の開発など地域における課題解決に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会長表彰	一般社団法人山中漆器コンソーシアムクラウドサービスを利用した山中漆器生産性向上プロジェクト	団体		平成 29 年度「地域 ICT 生産性向上支援事業」に採択された「クラウドサービスを利用した山中漆器生産性向上プロジェクト」において、産地の複数の事業者がクラウドサービスを活用するという取組と受発注業務の一元化及び工程の見える化等により、個社毎の作業の効率化への仕組みを実現し、ICT と IoT による地域の活性化に多大な貢献をされた功績
東 海	電波の日	片山 正昭	個人	国立大学法人名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授	多年にわたり、無線通信システムなどの研究を通じ情報通信研究者の育成を精力的に行われ、また東海情報通信懇談会電波部会長として地域における電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。
東 海	電波の日	牧 オサム	個人	前 一般社団法人日本コミュニティ放送協会 東海地区協議会 会長 株式会社尾張東部放送 代表取締役	多年にわたり、日本コミュニティ放送協会東海地区協議会会長としてコミュニティ放送の普及及び災害発生時の活用尽力されるなど、東海地域のコミュニティ放送の発展に多大な貢献をされました。
東 海	電波の日	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟東海支部広報委員会へ～ぶるGiRLS	団体	東海支部支部長： 小野 哲彦	多年にわたり、ケーブルテレビの広告塔として精力的に活動され地域情報化の促進・新 4K8K 衛星放送の普及など、東海地域の通信と放送の発展に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	間瀬 健二	個人	国立大学法人名古屋大学大学院情報学研究科 教授	戦略的情報通信研究開発推進事業などにより自由視点映像技術の研究を多年にわたりリードされるとともに、車椅子利用者の褥瘡予防システムの発展など、ICT による社会課題の解決に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	岐阜市	団体	市長： 柴橋 正直	全国初の外国人観光客の行動を想定した多言語音声翻訳技術実証実験に全面的に参画され、同技術の社会実装の推進に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	公益社団法人全国消費生活相談員協会中部支部	団体	理事中部支部長： 清水 かほる	東海電気通信消費者支援連絡会構成員として消費者が安心して電気通信サービスを利用できるような的確な提言を行うなど、消費者保護の充実による情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	中部ケーブルネットワーク株式会社	団体	代表取締役社長： 奥村 与幸	多年にわたり、e-ネットキャラバンの活動に深い理解と惜しみない協力でインターネットやスマートフォンの安心・安全な利用を啓発するなど、情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	東白川村	団体	村長： 今井 俊郎	ウェブ上で手軽にデザインできる住宅受注システムによる林業・建築業の 6 次産業化や、校内外でいつでも利用できるタブレットによる小中学生の学習環境整備など、ICT を先駆的に活用され地域活性化に多大な貢献をされました。
東 海	情報通信月間	三重サイバーセキュリティ・アイザック	団体	中西 通	三重県内の企業・経済団体・学術機関などのサイバーセキュリティ意識と対処能力の向上に関する啓発活動を積極的に推進するとともに各機関の連携を促進するなど、安全なサイバー空間の実現に多大な貢献をされました。
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	梶野 勤	個人	日本放送協会 元職員、株式会社 NHK アイテック（現 株式会社 NHK テクノロジーズ）元社員	長年にわたり、東海地域におけるテレビ・ラジオ放送などの放送設備の整備と安定運用に尽力されるとともに、豊富な知識と経験をもって放送技術者の育成に多大な貢献をされました。
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	瀬瀬 恵	個人	新生テクノス株式会社名古屋支店 名古屋通信営業所 総括所長代理	長年にわたり、鉄道の安全・安定輸送に重要な列車無線システムの維持管理や鉄道無線技術者の育成指導に尽力されるなど、鉄道分野における電波利用に多大な貢献をされました。
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	武 聖治	個人	元名古屋市住宅供給公社 管理部 主幹	長年にわたり、旺盛な熱意と卓越した技術力をもって名古屋市内のテレビ受信障害対策業務に携わり幾多の難解な障害を回避・解決されるとともに、テレビ共聴施設の維持管理や後進の指導育成に尽力されるなど、安定したテレビ受信環境の確保に多大な貢献をされました
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	愛知工科大学工学部情報メディア学科板宮朋基研究室	団体	教授： 板宮 朋基	災害時の初動体制の重要性を認識し、災害疑似体験を容易に行うことができるスマートフォン用の AR アプリを開発し、学校や地方公共団体の防災訓練において採用されるなど、最新の情報通信技術を利用して地域防災力の向上に多大な貢献をされました。
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	中部テレコミュニケーション株式会社	団体	代表取締役社長： 宮倉 康彰	水族館や動物園などのライブ中継による双方向の通信環境により、外に出られない入院中の子供達が楽しめるイベントげんきのみどりを管内の病院で数多く展開されるなど、情報通信技術を活用して豊かな地域環境づくりに多大な貢献をされました。
近 畿	電波の日	佐藤 周	個人	和歌山県情報化推進協議会 幹事長 国立大学法人和歌山大学 名誉教授	和歌山県情報化推進協議会の幹事長として南海トラフ巨大地震の発生に備え和歌山県内の地域住民に避難情報などが確実に伝わるための情報伝達手段の確保に 向け臨時災害放送局の開設訓練を通じてその有効性を広く示すなど献身的に県内の大規模災害に備えた体制づくりに多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	電波の日	朝日放送テレビ株式会社	団体	代表取締役社長 ：山本 晋也	テレビ受信機内の郵便番号データを活用し緊急性の高い災害情報を本放送の映像に重ねて表示させるシステムを国内初で実用化しその活用により昨年の台風到来時などにおいて地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
近畿	電波の日	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 関西地方本部	団体	理事・関西地方本部長 ：田中 透	アマチュアガイダンス局を運用することでアマチュア無線の運用の適正化に大きな役割を果たし電波規正用無線局との合同運用にも積極的に応じるなど管内における無線通信の秩序及び電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。
近畿	電波の日	大阪府警察本部生活安全部	団体	部長 ：高木 久	所轄の警察署を積極的に指揮することで全国的にも際立った回数 of 不法無線局の共同取締りを行い無線通信の秩序及び電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	平野 公	個人	読売テレビ放送株式会社 コンプライアンス推進室 法務・知財管理部長	インターネットリテラシー啓発動画コンテスト「動画フェスタ」においてただ一人の動画コンテンツ権利処理アドバイザーとして尽力し活動を支えるとともにメディアを通じた社会に対する情報発信にも積極的に協力をするなど青少年のリテラシー向上に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	松宮 雅美	個人	株式会社内田洋行 システムズエンジニアリング事業部 技術サポート&サービスビジネス推進部 サービス事業開発課	総務省と文部科学省が連携し取り組む e ネットキャラバンにおいて長年にわたり講師を務めリテラシー向上に資する取り組みの円滑な実施に尽力し地域におけるインターネットの安心安全な利用に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	加古川市	団体	市長 ：岡田 康裕	V-Lowマルチメディア放送波を用いて遠隔での避難所の鍵錠錠が可能となるシステムを全国初で導入するとともに ICT を活用した官民連携による見守りサービスを構築しこれを普及させるなど先進的取り組みにより地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	岡 育生	個人	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	無線通信における変復調、符号化技術を中心に研究を行い、「時間・周波数拡散方式」を開発するとともに、無線 LAN のアクセスポイントの輻輳に効果的に対処する方法を開発するなど無線通信の発展に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	井上 あい子	個人	兵庫県立大学大学院経済学研究科 博士後期課程	広域災害に備えた自治体と放送事業者との協業の意義を唱え、具体的な協業を構築するとともに、緊急避難誘導システム等の開発や普及啓発に努め産学官の連携に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	尼崎市立尼崎双星高等学校	団体	学校長 ：谷 清隆	永年にわたり工事担任者を多く輩出するとともに、「情報通信エンジニア」制度を活用し認定資格者を数多く輩出し、高等学校としてのスキルアップに先導的な役割を果たし情報通信人材の育成に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	関西テレビ放送株式会社 制作技術局制作技術センター	団体	主事 ：山本 倫久	長年の課題であったワイヤレスカメラの制御及びタリー信号の伝送においてモバイル IP 回線を使用したリモートでの各種制御が可能なシステムを構築し、中継番組等における映像のクオリティアップに多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	兵庫ニューメディア推進協議会	団体	会長 ：家次 恒	昭和 59 年の設立以来 35 年にわたり情報システムの調査研究や情報通信に係る普及啓発活動に取り組むとともに、地域の ICT 企業との交流を通じての産業振興や地域活性化の検討など地域の情報化の推進や支援に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	日本海テレビジョン放送株式会社 株式会社山陰放送 山陰中央テレビジョン放送株式会社	団体	代表取締役社長 ：真鍋 和彦 代表取締役社長 ：坂口 吉平 代表取締役社長 ：田部 長右衛門	放送事業者 3 社が共同して「山陰地区民放テレビ三局共同キャンペーン」の取り組みを行いローカルテレビの魅力を発信し放送の発展に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	島根県津和野警察署	団体	所長 ：毛利 美樹	無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するため取締りを多数実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	熊野町	団体	町長 ：三村 裕史	平成 30 年 7 月豪雨災害において、臨時災害放送局を開設し地域住民にきめ細かな情報提供を継続的に行う等、災害時の放送の活用に関して多大な貢献をされました。
中国	電波の日	坂町	団体	町長 ：吉田 隆行	平成 30 年 7 月豪雨災害において、臨時災害放送局を開設し地域住民にきめ細かな情報提供を継続的に行う等、災害時の放送の活用に関して多大な貢献をされました。
中国	電波の日	一般財団法人移動無線センター 中国センター	団体	中国センター長 ：林 浩靖	平成 30 年 7 月豪雨災害において、被災自治体へ多数の無線機器を無償提供し、非常時の通信の確保に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中国	電波の日	RSK山陽放送株式会社	団体	代表取締役社長 ：桑田 茂	平成30年7月豪雨災害において、被災者の情報収集に必要となるラジオを提供し、被災地域における情報伝達手段の確保において多大なる貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社NTTドコモ 中国支社	団体	執行役員 支社長 ：上野 智久	平成30年7月豪雨災害において、被災自治体へ多数の通信機器を無償提供し、非常時の通信の確保に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社NHKテクノロジーズ 広島総支社	団体	執行役員 広島総支社長 ：立川 一彦	平成30年7月豪雨災害における臨時災害放送局の開設及び運用の支援を行い、被災地域における情報伝達手段の構築において多大なる貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社FMはつかいち	団体	代表取締役社長 ：細川 匡	平成30年7月豪雨災害における臨時災害放送局の開設及び運用の支援を行い、被災地域における情報伝達手段の構築において多大なる貢献をされました。
中国	電波の日	KDDI株式会社 中国総支社	団体	理事 中国総支社長 ：坂口 達司	平成30年7月豪雨災害において、被災自治体へ多数の通信機器を無償提供し、非常時の通信の確保に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	ソフトバンク株式会社 エリアネットワーク本部中国ネットワーク技術部	団体	部長 ：須山 百合子	平成30年7月豪雨災害において、被災自治体へ多数の通信機器を無償提供し、非常時の通信の確保に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社中国コミュニケーションネットワーク	団体	代表取締役社長 ：小野 浩二	平成30年7月豪雨災害における臨時災害放送局の開設及び運用の支援を行い、被災地域における情報伝達手段の構築において多大なる貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社中国放送	団体	代表取締役社長 ：畑矢 健治	平成30年7月豪雨災害において、被災者の情報収集に必要となるラジオを提供し、被災地域における情報伝達手段の確保において多大なる貢献をされました。
中国	電波の日	西日本電信電話株式会社中国事業本部	団体	代表取締役 中国事業本部長 ：永野 浩介	平成30年7月豪雨災害において、通信の早期復旧や無料公衆無線LAN等を設置し、避難所等の通信確保に努めるなど被災地の災害復旧に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社ニッポン放送	団体	代表取締役社長 ：岩崎 正幸	平成30年7月豪雨災害において、被災者の情報収集に必要となるラジオを提供し、被災地域における情報伝達手段の確保において多大なる貢献をされました。
中国	情報通信月間	島根県	団体	知事 ：丸山 達也	オープンデータを用いた地域課題解決のアイデアソンや県内の市町村担当者向け研修の開催など、島根県内のオープンデータの普及促進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	宇部市	団体	市長 ：久保田 后子	多年にわたりオープンデータを活用して、地方創生の推進に資するアプリコンテストを開催するなど、オープンデータの普及促進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	川本町	団体	町長 ：三宅 実	町内にテレワーク拠点を整備するなど、中国地方における過疎地域の成功モデルとして人と仕事の流れを創出し、地域における働き方改革や地域の活性化に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	サビエル高等学校	団体	校長：松原 秀樹	高校生 ICT Conference など情報モラル教育に熱心に取り組んでおられ、生徒のインターネットリテラシーの向上に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	一般社団法人高梁川プレゼンターレ	団体	代表理事 ：坂ノ上 博史	倉敷美観地区近隣において、古民家を再生しテレワーク拠点を整備することで人と仕事の流れを創出するとともに、地域住民の働き方改革や地域の活性化に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	山陰ケーブルビジョン株式会社	団体	代表取締役社長 ：石原 俊太郎	e-ネットキャラバンの趣旨に賛同し、多数の講座で講師を務めるなどインターネットの安心・安全利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	ためま株式会社	団体	代表取締役社長 ：清水 義弘	スマートフォンで地域情報を共有するアプリ「ためまっぷ」を中国地域をはじめ、全国の自治体等と連携し子育て情報等の共有に活用されるなど、地域の情報化や活性化に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	三原テレビ放送株式会社	団体	代表取締役社長 ：後藤 和之	平成30年7月豪雨災害において、地域住民にきめ細かな情報提供を行うとともに災害時の有効な情報伝達の在り方を提示し、地域全体の防災意識の向上を図るなど多大な貢献をされました。
中国	「地域発デジタルコンテンツ」中国総合通信局長奨励賞	小川 滉太郎 小玉 伸 橋元 夏樹	個人		作品名：「Dream in The Bath」 浴槽で眠りに落ちた少女は、星空がきらめく 大都会をさまよいます。映像美が際立つ作品。
中国	「地域発デジタルコンテンツ」中国総合通信局長奨励賞	小田 普音	個人		作品名：「nobody knows」 愛がわからない少年が、愛の捉えかたは人それぞれでいいと学んでいく様子を優しいタッチで 描いた、心温まる作品

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四国	電波の日	田中 一郎	個人	高知県電波適正利用推進員協議会会長	電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、高知県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をされました。
四国	電波の日	今治市 今治コミュニティ放送株式会社	団体		災害時の情報伝達の重要性を深く認識し、島しょ部などにおけるラジオ放送の難聴解消のための中継局整備を積極的に進め、電波の利用を通じた地域の防災・減災の取組に多大な貢献をされました。
四国	電波の日	株式会社NTTドコモ四国支社 KDDI株式会社四国総支社 ソフトバンク株式会社エリアネットワーク本部四国ネットワーク技術部	団体		平成30年7月豪雨において、被災した基地局の早期復旧や移動基地局車等の迅速稼働による携帯電話のサービスエリア確保に努めるとともに、被災した市町村への機器貸与や避難所の通信利用環境整備など非常時の通信確保に多大な貢献をされました。
四国	電波の日	愛媛大学大学院理工学研究科分散処理システム研究室	団体		総務省の実施した「5G利活用アイデアコンテスト」において5Gの特徴を活かした地方創生に資する独創的な利活用アイデアを提案され、地域社会の課題解決策を示すとともに地域における電波の有効利用の推進に多大な貢献をされました。
四国	電波の日	香川県東かがわ警察署	団体		電波利用環境保護の重要性を深く認識され、電波のルールを守るため積極的に不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
四国	情報通信月間	松田 清宏	個人	四国旅客鉄道株式会社相談役	多年にわたり四国情報通信懇談会の会長として幅広い見識を生かして同会の発展に寄与するとともに、ICTを活用した地方創生に資する取組に尽力し、四国における情報通信の普及発展に多大な貢献をされました。
四国	情報通信月間	和泉 光敏	個人	株式会社STNet専務取締役	多年にわたり戦略的情報通信研究開発推進事業の評価委員として、研究者が提案するICT研究開発課題について地域の課題解決及び活性化の観点から公平・公正な評価に取り組み、ICT分野の研究開発の推進に多大な貢献をされました。
四国	情報通信月間	尾形 優子	個人	メロディ・インターナショナル株式会社 CEO	周産期遠隔医療のシステム開発に尽力し、安心安全な暮らしの実現に寄与するとともに、多年にわたり四国情報通信懇談会の運営委員を務めるなど、情報通信技術の普及発展に多大な貢献をされました。
四国	情報通信月間	愛媛大学 徳島大学 香川大学 高知工科大学 香川高等専門学校 新居浜工業高等専門学校 弓削商船高等専門学校 高知工業高等専門学校 情報通信交流館 e-とびあ・かがわ	団体		全国から集ったサイバーセキュリティの専門家による講演の模様をライブ配信する「SEC道後バーチャルキャンパス」の開催に協力し、地域におけるセキュリティ意識の向上とサイバーセキュリティ人材の育成に多大な貢献をされました。
四国	情報通信月間	スマートシティたかまつ推進協議会	団体		高松市がデータ利活用型スマートシティ推進事業により導入したIoT共通プラットフォームを通じ、防災・観光分野でのデータ可視化などを推進しICT活用によるスマートシティ化の実現に向け多大な貢献をされました。
四国	四国情報通信協力会長表彰	特定非営利活動法人ぼうしすてむ	団体		障がい者雇用におけるテレワークの役割を深く認識され、ICTスキルの向上に努められるとともに情報通信技術を活用した在宅就労の普及に積極的に取り組み、地域の活性化に多大な貢献をされました。
四国	四国情報通信協力会長表彰	医療法人住友別子病院	団体		ICTを積極的に活用した医療サービスを地域住民に提供するとともに、全館に無線LAN環境を構築し患者アメニティの向上を図るなど、医療分野におけるICTの利活用の推進に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	電波の日	林 初郎	個人	鹿児島県電波適正利用推進員協議会 推進員	鹿児島県電波適正利用推進員協議会の会長職をはじめ、長きにわたり協議会の活動に尽力され、電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に推進するなど、地域における適正な電波利用環境の構築に多大な貢献をされました。
九州	電波の日	福岡県粕屋警察署	団体	署長 ：笠野 良尚	不法に開設された無線局の排除のため、積極的に捜査活動を行い、被疑者を摘発するなど、安心・安全な電波利用環境の構築と秩序維持に多大な貢献をされました。
九州	電波の日	福岡県朝倉市	団体	市長 ：林 裕二	九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市杷木地区を放送区域とする臨時災害放送局をいち早く開局し、災害に関する情報や生活に役立つ情報の発信に努めるなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
九州	電波の日	株式会社奄美通信システム	団体	代表取締役 ：栂山 廣市	昨年の大型台風により鹿児島県奄美地方で多くの住民が被災し、放送や通信設備に甚大な被害が発生する中で、昼夜を問わず設備の早期復旧に尽力され、地域住民の生活に不可欠な放送と通信の確保に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	橋本 博	個人	西日本電信電話株式会社九州事業本部九州ブロードバンド推進室 室長	長きにわたり九州の地方公共団体に対して、新たな情報通信基盤整備方式の提案や助言を行うなど、地域間の情報格差の是正に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	長崎県	団体	知事 ：中村 法道	県の防災システムと連携したLアラートを導入し、地域住民へ災害に関する情報の迅速かつ効率的な伝達と情報共有の強化を図るなど、防災・減災対策におけるICT利活用の高度化の促進に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	鹿児島県肝付町	団体	町長 ：永野 和行	地域のIoT実装を推進するため「地域IoT官民ネット」に発足当初から参画され、AIやIoTを活用したバス運行及び高齢者や児童見守りの実証など、先進的な取り組みを行い、その成果の周知展開を図るなど、地域におけるIoTの普及促進に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	一般社団法人九州テレコム振興センター	団体	会長 ：村山 伸樹	九州地域の情報化を推進するため、長きにわたり情報通信分野における広域的な産学官連携の推進を図るとともに、情報通信の基盤整備や利活用にかかる自治体への支援など、九州における地域情報化に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	株式会社長崎国際テレビ	団体	代表取締役社長 ：袴田 直希	放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間	株式会社南日本放送	団体	代表取締役社長 ：中野 寿康	放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。
九州	「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞	大分市立碩田学園	学校部門	校長 ：佐藤 修	標語『SNS 気づいてあげて SOS』 「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	安在 博二	個人	延岡市立黒岩小中学校 校長	放送電波の受信障害防止の意義を深く認識され、長きにわたり中学校教諭として「受信環境クリーン図案コンクール」に積極的に取り組み、広く受信障害に関する知識の啓発に寄与されるなど、電波利用における公共の福祉の増進に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	熊本市新市街商店街振興組合	団体	理事長 ：安田 二郎	九州受信環境クリーン協議会と共催で「受信環境クリーンフェア」を開催し、テレビ・ラジオ放送の受信障害の未然防止に関する周知啓発活動を積極的に推進され、電波利用における公共の福祉の増進に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	沖縄県立沖縄水産高等学校	団体		多年にわたり、無線従事者の養成学校としての社会的役割を深く認識され、多くの無線従事者を養成し、電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	沖縄県立浦添工業高等学校	団体		無線従事者資格の取得を奨励するとともに、国家試験に向けて臨時講座を開催するなどの熱心な教育により、多くの無線従事者を育成し、電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	沖縄県警察学校	団体		多年にわたり、警察活動における無線通信の重要性を深く認識され、養成講習によって多くの警察職員の無線従事者を養成し、電波利用の普及・発展に多大に貢献をされました。
沖縄	電波の日	株式会社FMよみたん	団体		災害時の情報伝達の重要性を深く理解され、昨年の台風接近時においては中断なく放送を継続し、地域住民の安心安全確保に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
沖縄	電波の日	株式会社FMうるま	団体		災害時の情報伝達の重要性を深く理解され、昨年の台風接近時には中断なく放送を継続し、地域住民の安心安全確保に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	FM本部株式会社	団体		災害時の情報伝達の重要性を深く理解され、昨年の台風接近時には中断なく放送を継続し、地域住民の安心安全確保に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	株式会社エフエムやんばる	団体		災害時の情報伝達の重要性を深く理解され、昨年の台風接近時には中断なく放送を継続し、地域住民の安心安全確保に多大な貢献をされました。
沖縄	情報通信月間	豊見城市立座安小学校	団体		多年にわたり、総務省の「e-ネット安心講座」を受講され、児童・生徒をはじめ、保護者・教職者等への情報モラル教育を推進し、インターネットの安心・安全な利用の普及に貢献されました。
沖縄		宮古島市立下地中学校	団体		多年にわたり、総務省の「e-ネット安心講座」を受講され、児童・生徒をはじめ、保護者・教職者等への情報モラル教育を推進し、インターネットの安心・安全な利用の普及に貢献されました。
沖縄	「情報通信の安心安全な利用のための標語」沖縄総合通信事務所長賞表彰	那覇市立松島中学校	学校部門		受賞標語：「インスタ映え いいねほしさに 事故多発」 「平成31年度情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされると共に優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に大きく貢献されました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	安田 均	個人		多年にわたり、沖縄県内の放送事業者の技術者として従事し、難視聴地域の解消や地上デジタルテレビ放送の普及促進に深く携わり、放送の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	喜屋武 幸弘	個人		多年にわたり、沖縄県内の放送事業者の技術者として従事し、難視聴地域の解消や地上デジタルテレビ放送の普及促進に深く携わり、放送の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	垣花 勝也	個人		多年にわたり、ラジオ放送事業の重要性を深く理解され、中波放送からFM放送への移行に携わるなど、その豊富な経験により放送文化の発展に多大の貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	波平 三雄	個人		多年にわたって沖縄県防災行政無線の整備運用に携わり、県内市町村における非常時の通信手段確保及び海底光ケーブルによるループ化に多大な貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	金城 宏	個人		多年にわたり、沖縄県漁業無線協会の会長を務められ、漁業無線通信の普及、漁船の安全航行、そして海上の災害防止に多大な貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	大浦 操子	個人		多年にわたり、受信環境クリーン図案コンクールへの作品応募を指導され、美術を通じた電波に関する知識の普及啓発に多大な貢献をされました。
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	荷川取 剛	個人	ANA 沖縄空港株式会社	多年にわたり、航空関係の地上無線通信業務に従事され、社内の無線従事者の育成指導と航空機の安全運航に尽力し、電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。